



基礎研究医養成プログラム セミナーのご報告

国際交流セミナー&ハートセンターカンファレンス

(順天堂国際医学教育塾・基礎研究医養成プログラム共催)

Inflammation in Vascular Disease: From Biology to Therapy ～国際的に活躍する医学者を目指す皆さんへ～

■特別講演1 ハーバード大学 **相川 眞範** 先生

Inflammatory Aspects of Cardiovascular Calcification

■特別講演2 ハーバード大学 **Elena Aikawa** 先生

ハーバード大学相川先生ご夫妻を講師にお招きし、順天堂国際医学教育塾・基礎研究医養成プログラム共催の「国際交流セミナー&ハートセンターカンファレンス」を開催しました。相川眞範先生から、本学を御卒業されてから現在のハーバード大学 Associate Professor に至るまでの経緯を踏まえたアドバイスと、心血管系の基礎から臨床までの研究成果について日本語でご紹介いただきました。また Elena Aikawa 先生からは、研究内容を英語でご講演いただきました。本プログラム学生にはやや高度でしたが、将来に向かって今自分たちが何をしておくべきかを考える上で、非常に参考になる講演でした。相川先生には学生の短期留学受け入れを快諾していただき、学生の国際活動の選択肢が増えました。

2014.5.21



新潟大学連携セミナー

細胞と組織がつくる美しい世界 一顕微鏡に魅せられて

■講師 新潟大学 解剖学分野 教授 **牛木 辰男** 先生

10:30～12:00 本郷キャンパスセンチュリータワー北4階406講義室において、新潟大学医学部長 大学院医歯学総合研究科解剖学分野教授牛木辰男先生を講師にお招きし、当プログラム主催新潟大学連携セミナーを開催しました。新潟大学についてご紹介いただいた後、先生が解剖学教室へと進まれた経緯からこれまでの電子顕微鏡を駆使した形態学研究について、美しい電顕写真や手書きのイラストをふんだんに用いてお話しいただきました。走査電顕の技法・装置の開発も非常に興味深いものでした。教科書でお馴染みの先生のご講演に、参加した学生達の感動も大きかったようです。

2014.11.1



法医学ランチョンセミナー

昨今、社会的な要請の高い死因究明医を目指す学生の養成をする試みとして、基礎研究医養成プログラムでは本年度より法医学に関するセミナーを開催することになりました。様々な領域でご活躍されている方々をお招きし、ご講演いただいた後に学生からの質問に答えていただく場を設けました。

私はどうして監察医になったのか

■講師 東京都監察医務院 監察医 **朝倉 久美子** 先生

朝倉 久美子 先生のこれまで歩んで来られた経歴と現在の職務・研究について紹介していただきました。監察医の仕事は「死因の決定」であり、突然死などなぜ死亡に至ったのか不明な人の死因を解明する「最期の医療」で、遺族に説明できる意義をもつ、という実態について説明していただきました。進路を考える上で大変有意義なセミナーでした。

2014.6.25

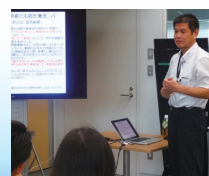


法医学と死因究明

■講師 千葉大大学院 法医学教室 教授 **岩瀬 博太郎** 先生

千葉大大学院法医学教授(東京大学法医学教授兼任)岩瀬 博太郎 先生に法医学への道へと進むきっかけとなった学生時代のエピソードから現在の日本の死因究明制度の問題点まで、非常に興味深いお話を紹介していただきました。社会的要請が強いかかわらず人材や設備の不足がなかなか改善されない中、若い人に是非法医学へ進んでほしいという先生のお気持ち伝わりました。国民の権利を維持するために死因究明そして法医学者がどれほど重要であるか、認識を新たにしたセミナーでした。

2014.9.16



研究ランチョンセミナー

iPS細胞で何が出来るか？

～細胞移植だけじゃないんです iPS細胞技術の使い道は～

■講師 ゲノム・再生医療センター 特任教授 **赤松 和土** 先生

赤松和土先生に、神経発生から神経幹細胞の研究を経て、現在行っている iPS 細胞技術を用いた研究についてお話しいただきました。神経系の再生治療を目指し、リプログラミングから神経幹細胞を直接誘導する研究、および神経疾患病因解明のための患者由来 iPS 細胞研究について紹介し、疾患研究に iPS 細胞技術がきわめて有用であることをお示しくださいました。iPS 細胞研究に興味を持っている学生は是非連絡してくださいということでした。

2014.7.3



解剖学者ですが、何か？

—これまでの研究とこれからの研究室について—

■講師 神経生物学・形態学 教授 **小池 正人** 先生

小池正人先生が、解剖学者の活動の三本柱である研究・技術開発・教育について、これまでの活動と今後の展開についてお話し下さいました。小池先生のご専門分野はタンパク質分解系のオートファジー・リソゾーム系で、特にカテプシン D 欠損による神経変性に関する顕著な研究業績について分かりやすく説明してくださいました。また、医学部の研究者は Generalist と Specialist の両方をバランスよく兼ね備え、その配分は短・中・長期目標を設定して決めることが必要であると教えていただきました。さらに、最新技術や最新の電子顕微鏡についてもご紹介いただきこれらの技術を活用した学内共同研究が今後大きく発展していくと期待されます。

2014.11.26



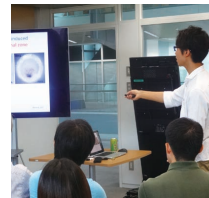
学生によるランチョンセミナー（報告会）

「大学生のための生命科学研究インターンシップ」報告会

■発表 3年生 **鈴木 佑治** 君

M3 鈴木佑治君が、8月4日～8日の5日間、理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター主催の「大学生のための生命科学研究インターンシップ」に参加し、その研究成果をランチョンセミナーで報告しました。幹細胞や細胞分化に興味を持っていた鈴木君は、初期発生研究チーム (Sheng 研) への配属を希望し、ニワトリの初期胚に成長因子を加えて中胚葉を分化させる実験を行いました。最終日の研究発表会でベストプレゼンテーション賞に輝いたスライドや動画を使って、ニワトリの発生には全く馴染みのないプログラム学生にもわかりやすく解説しながら研究内容を説明してくれました。

2014.9.9



「愛南町の医療を考える会」報告会

■発表 3年生 **河野 智考** 君

M3 河野智考君が8月18日～19日に愛媛県最南端に位置する愛南町で開催された「愛南町の医療を考える会」に参加した報告を行いました。事前に地域医療について調査し、若い医師が医療過疎地で働きたいと思えるようにするにはどうしたらよいか、「へき地医療についての考察～医学生の立場からの提言～」と題し、現状を踏まえた提言を行い地元紙にも取り上げられたそうです。地元の方からは、地域住民を巻き込むプランや予防に重点を置いた医療など別の見地からの提言を聞き、さらに見識が広がりました。大自然あふれる愛南町の紹介や、愛媛大学生や地域医療を担っている方々との交流の様子も交え、すばらしいプレゼンテーションでした。へき地医療の現状を改善すべく、河野君の今後ますますの活躍が期待されます。

2014.11.18



基礎研究医養成のための順天堂型教育改革

平成 24 年度 文部科学省事業「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」「医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」に採択されました。(39 大学申請、10 大学選定)

- ・この事業は、医学部及び医学系大学院において、魅力ある基礎研究医養成プログラムを構築する優れた取組みを支援するものです。
- ・これまでの研究医養成枠、基礎医学研究者養成奨学金貸与等の取り組みに加え、医学部・大学院をシームレスにつなぐ特別コースを実施します。

基礎研究医養成プログラム専用スペース



本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー南
7階 S703

最新情報はコチラ → <http://www.juntendo.ac.jp/kenkyui>
お問合せはコチラ → e-mail : kenkyui@juntendo.ac.jp

本プログラムに興味のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

本郷・お茶の水キャンパス

さくらキャンパス

○相談窓口 事務部 教務課 (0476-98-1001、内線 215)

- 内容について 基礎研究医養成プログラム室
- 具体的な相談について キャリア支援相談室
- 手続き・その他について 本郷・お茶の水キャンパス事務室 (03-3813-3111、内線 3221)